迎春

いわみざわ

IWAMIZAWA

発行所 陸上自衛隊 岩見沢駐屯地 OB会 岩見沢市日の出台1-3

印刷所 北海道立福祉村 空知郡栗沢町最上350 TEL (0126) 45－2721

平成四年元旦

年頭の挨拶

第12施設群長
兼駐屯地司令
1等陸佐 鈴木通彦

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、海上自衛隊の掃海隊による湾岸での活躍、雲仙普賢岳での自衛隊の活躍により、自衛隊に対する期待が著しい高まりを見せました。

この中にあって、十二施設群は、北大演で長期間に亘りRC舗装、めがね新道構築等を行い、苦しい中で任務を成し遂げる喜びを味わい、また、団長からは、群の施設技術力に対して高い評価をいただきました。さらに、冬季戦技競技会、射撃競技会では優勝の栄冠を得て共通的戦技能力の高さも証明しました。

駐屯地においては、もみじ池吊橋や業務隊による遊歩道の新設、官舎地区舗装の改修、受電所の新築等により環境の改善も予期以上の進展をみました。緑成園水泳支援では、はじめて海に入る喜びにわく子供にむしろ支援した隊員が感激したり、どか雪祭、かっぺ祭、百餅祭支援などを通じて市民との絆を益々強くしました。

これらを通じ、きわめて多忙な隊務の中で、十二施設群を始め、岩見沢駐屯地全体が方面隊はもとより市民にも高い評価を受ける事が出来たと確信している次第です。

本年は、国民の期待に応え、変化しつつある国民意識を正しくリードするためにも、「何があっても常に適切な対処ができ、信頼される岩見沢自衛隊」を目指して錬磨を続けることが肝要だと考えています。

このため、十二施設群は共通的戦技能力、特に施設技術力並びに即応能力の向上を、諸隊はこれを完全に支援できる態勢づくりを目標に錬磨するとともに、自衛隊に対する市民の理解と協力を得るための広報活動並びに整備工場、器材庫の改築等の勤務環境の改善を積極的に進め、「活力とゆとり」のある駐屯地を目指したいと考えています。

年頭にあたり、隊員及びご家族の皆さんのご健康とご健勝を祈念してご挨拶と致します。

岩見沢市長

能勢市長

隊員の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

昨年九月には岩見沢駐屯地創立三十八周年・第十二施設群創隊十六周年の節目を迎えられ、厳粛且つ盛大のうちに記念式典並びに祝賀会が開催されました。

当日は、第十二施設群、予備自衛官、隊友会の車両によるパレードや災害救助訓練など、国を守ることに大きな誇りと喜びをもって日夜厳しい訓練に耐え、平和維持と住民福祉のために、弛まぬ努力を重ねておられる自衛隊の皆さんの士気を感じ心強く思ったところであります。

岩見沢の部隊は施設部隊ということから、本来業務の遂行と共に、公共事業の部外工事への協力をはじめ、冬期間の除排雪、道路の新設や改修、災害出動や水難事故の捜索活動等々に対し、優れた組織力や装備力を地域振興の面でも活用され、岩見沢市の発展に大きく寄与されておりますことに対し、深く敬意を表するものであります。

歴代司令のもとに、隊員の皆様には、過去幾度かの大災害に際しての献身的な活動や当市の公共事業への協力をはじめとし、地域住民との連帯感の醸成、地域おこしの育成を目的として開催される、あやめまつりやふるさと百餅祭り、岩見沢ドカ雪まつりなど、地域生活に密着した広域的なイベントへの積極的な参画に加え、スポーツや文化活動における参加・技術指導等々、市民との融和、自治体との連携を積極的に図ってこられましたことにつきましては、多くの市民と共に深く感謝をしているところであります。

隊員の皆さんが、今後とも地域の皆さんと融合し、理解を深めつつ益々発展されますことを祈念し、年頭のご挨拶といたします。

岩見沢協力会長

笠原会長

新春を迎えるにあたり所感の一端を申し上げたいと存じます。まずは、明けましておめでとう存じます。皆様にはお健やかに年頭を迎えられたことと心からご祈念申し上げます。

さて、昨年はペルシャ湾掃海派遣部隊が連日猛暑と砂塵に悩まされ乍らの機雷除去に任じ合計三十四個の機雷を処分し、ペルシャ湾航行の安全確保が宣言され、国際貢献の一つとして、国内的にも国際的にも高く評価されました。

一方今も続いている長崎県雲仙・普賢岳の噴火で島原地区に出動中である陸上自衛隊の災害派遣部隊が厳しい暑さの中で、相次ぐ火砕流の危険を冒して行方不明者の捜索、遺体収容、普賢岳火口の監視や観測を支援し、また、地方自治体の救援活動を支援しています。まだまだ長期に及ぶことでしょう。

更に、PKO法案が衆参両議院で活発な論議が行なわれ、平和憲法をもつ唯一の国としての悩みが浮上しております。道内的には、志方北部方面総監を統裁官とする緊急医療支援訓練（ビックレスキュー'91）が島松演習場において行なわれ、自衛隊をとりまく問題の多い、存在意議が盛んに問われた年でありました。

このような状況下でありながら制服組の意見らしいものは皆無で、それだけに関係者の一人として申し訳なく思っている次第であります。

皆様には上官の意志を尊重し、従来の方針とおり国の安全を確保するうえでいかなる態様の侵略にも対応し得る防衛体制を構成し、侵略を未然に防止することを防衛の基本として、日夜の訓練による技術の習得と不撓不屈の精神を養い、もって国民の負託に答えられるようご精進あらんことを心からご期待申し上げ年頭の挨拶といたします。

新年を迎えて

隊友会岩見沢支部

支部長
岡田徹也

隊員・協力三団体の皆様、御家族御一統の皆様！

新年お目出とうございます。皆様には、爽やかな平成四年の元旦を御迎えになられましたことを、心からお慶び申し上げます。

振り返ってみますと、平成三年は正に世界激動激変の年であり我々の生活にも直接、間接的に影響を及ぼすものが多くありました。

今日、生を受けている日本の人々は、明治生まれを筆頭に、大正、昭和そして平成と四世代にわたって、開国～戦勝～敗戦～貧困～繁栄と変転極りない年月を経験してまいりました。

特に平成三年は、第二次大戦終結後世界を二分する超大国として、その思想と強大さを誇った共産国家ソビエト連邦が破綻崩壊し始めるのを目のあたりに見る事になりました。

栄枯盛衰は世の常とは申しますが、このことは思想はもとより、政治経済等すべてにわたって強制、抑圧することが如何に人間性にもとるものであるかを実証するものに他なりません。

日本は、荒廃と貧困から四十六年間、自由民主主義の思想とその具体的な実行力で、今日の変転極まりない国際社会において、最も安定した国家として自他共に認められるまでに成長し、経済大国としてその動向は世界注目の的となり、また、問い直された一年であったかと思います。

私も、隊友会員OBの一人として、さらに自衛隊支援者の一人として大いに考えさせられた一年でもありました。

しかしながら、地元部隊の機会の橋渡しとして、小樽へ自衛艦の体験搭乗やまた、野球の交換試合、道議会の防衛議員団に混じっての三沢、大湊、千歳基地への研修と有意義な年でもあった訳であります。

今年も現職の皆様と民間の橋渡しとして役に立てたら、また、第三期総合計画に基づき十万都市を目指し、市政発展のために微力ではありますが、全力を尽くして参りたいなるに至りました。

正に目出たし、目出たしと言うことですが、ここで敢えてある識者の言を引用し皆様にお伝え致します。

「第三次大戦は、民主（自由）主義の勝利で終結し、今や戦後処理とも言うべき段階に入っている。人類は第一次、第二次大戦後の教訓を生かし、目前の平和ムードに酔うことなく、むしろ新秩序の模索から生ずる戦国動乱の兆しの恐れすらあることを認識する必要がある。安定した国際社会を希求する日本は、今の時期において判断に誤りのないことが極めて重要である。」と警鐘を鳴らしておきたいとおもいます。

さて年頭から堅苦しい話でしたが、なにはともあれ健康を唯一の資本として、本年も岩見沢駐屯地のなつかしい起床、就寝ラッパを聞きながら過ごし、「諸行事には全面参加」と楽しい一年になることを初夢に託して新年の御挨拶と致します。

頌春——

副支部長
安藤冨夫

平成四年の新春を隊友会員の皆様並びに現職自衛官の皆様と共に健やかに迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年は、国の内外を問わず激動の年、正に世紀末の十年間に入ったことを実感させられる一年であったように思われます。

特に現職のかたがたにとっては、様々な形で注目を浴び

入院雑感——

副支部長　八文字基次

交通事故の被害に逢い九月の初旬からある病院に入院した。加害者が、守るべきルールを無視して他人に損害を与えた行為に対し、事故を体験する前にはこれほど腹立たしさと怒りを感じたことはなかった。

まったく経験のなかった怪我の苦しみは、激痛と不眠と身体の不自由さ、そして気持ちの苛立ちの連続を我慢することであり、腹の中へ押し込むことであった。

それでも十日ほど過ぎた頃から多少楽になり、同室の方々との会話もスムーズに進むようになり、それまで随時面倒を見てくれていた看護婦さんの有難さにも応えられるようにゆとりもでてきた。

我が病室は六人部屋、担当してくれた看護婦さんの総数が何人であるかは調べていないが、とにかく優しく親切な方々ばかりで、本当に有難く感じたのは同室の皆さんからも同意見であったことである。

躾がしっかりしているというべきか、技術的巧緻は別として患者に対する態度、扱い方は明朗で嫌みがなく親切さも自然であり爽やかな環境で過ごすことができたことは嬉しく思っている。

それにつけても交通事故の忌まわしさは、他人ごとではなく戒めていく必要があろう。

定められた制限速度を遵守すべき立場にあるにもかかわらず極端な速度オーバーをして走行するとは、何とも残念でたまらないのであるが、なぜ？なのか是非謎んで欲しいものである。こうして文を記している間にも、事故が起き次々と入院し激痛に苦しみながら、悔悟と懺悔に悩みつつ治療されていることを想像するだけでも胸の痛む思いである。

石油諸税について

副支部長
長崎進

南空知地方石油業協同組合
常務理事　長崎　進

「石油事情について」

今日は、隊友会の皆さんに石油業に携わっている関係上われわれが常に生活する上で、重要な役割を果たしているエネルギーの石油についてお知らせしたいと思います。

今や、我々は一家庭に車のない所はないと言っていいほど車社会になっております。

ところで、その車を動かす石油は？ご承知のように中東地域には世界の石油資源埋蔵量の三分の二が存在しており、もしこの地域の石油資源が利用不可能になるようなことがあれば、世界の石油供給は恐らく回復不可能の大影響を受けることでしょう。

特に日本の場合は、米国の五倍以上、ECの二倍以上の中東地域への石油依存度が高いのであります。

九十年代を迎えた世界の石油産業にとって、湾岸戦争、中東危機とともに、世界的な変化に伴う石油需要の増加傾向、また、ソ連の石油減産、中東地域以外での新規油田開発が停滞するなど大きな問題があります。

しかし、長期的には石油供給の中東依存度が高まっていくことは避けられません。日本は今、原油輸入の約七割を中東地域に依存しており、産油国とのパイプの強化はもちろんのこと、国際強調、国際協力を背景にした石油輸入の長期戦略の構築が求められています。

日本の石油製品需要は、第二次オイルショック以降、年々減少傾向にありましたが、八十六年以降増加に転じこの二～三年需要動向は石油復権を物語っています。

今後は、エネルギーの長期的展望に立ち経済成長の持続を計りつつ省エネを推進し、環境問題に対応することが大きなテーマとなります。

湾岸戦争後、石油価格は徐々に上昇を続けており、四月以降でも平均約三円の値上がりを見せております。

最近の石油価格は元売りが毎月仕切り価格を示すようになっております。これは、我が国が輸入する原油のFOB価格（船積みした段階の価格、積み出し価格）は、ターム契約（長期）の物を含めて、蝶ねドバイ及びオーマン産の原油スポット価格（短期）に連動して変化します。

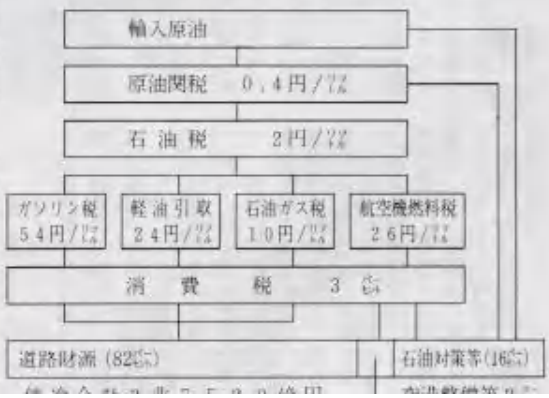
「石油税について」

石油諸税は、国の税収の大きな柱として、国民生活の向上に大きく寄与しています。

国民生活を支える石油の税制をどう適正に行うかは、とても重要なことなのです。

別表の税収と使途を見れば一目瞭然です。これら、石油諸税による年間税収額は平成二年度予算でも三兆七二一四億円に達します。これは、国税収入の四・八％を占めています。石油諸税の六割強は、ガソリン税です。

石油関係諸税の税収と使途



石油諸税による税収の約割が道路整備に使われています。

なお、湾岸戦争に伴う多国籍軍に対する費用分担のため平成三年度に限り石油臨時別税（一リットル一円二銭）が新たに掛けられています。

あとがき——

昨年の年度始めからこの関紙を手掛けるようになったが早いもので、もう新年のものになろうとしている。記事については、みんなの希望を取り入れていきたいと考えていながら、部隊の中と違ってそれぞれの職場が異なることから、思うようにいかないのが常である。

あれよあれよという間につも期日がきてしまい皆さんに満足していただけるような記事が出来ず申し訳ないと思っています。

新年度は、会員のかたがたからも是非投稿して頂きたいと思います。皆さんの御協力、御指導をお待ちしております。

（機関紙編集部）

新年の御挨拶

変わる変わる世界が変わる 自衛隊も変わる

業務隊長
2等陸佐 岡本 晃

駐屯地の皆さん、新年おめでとうございます。今年も何事もなく年が明けた様な感じで新年を迎えられた事と思います。

しかしながら目には見えないけれど世界の歴史からみると「急転直下」と言ってもいい程の大きな変化が進み、世界は急流に押し流される様に動いています。この原因は総てソ連にあります。

今まで、これこそが「理想の主義」と信じていた共産主義が、本当のところは一部の特権階級の人達だけの幸せだったと一般の国民が気づいた時には、経済も行き詰まり、今では日本などへ食糧や資金の援助を仰がなければならなくなってしまいました。結局十五の共和国もバラバラになり、同盟関係にあった社会主義の国々も共倒れです。

こうして、今まで他国を押さえつけて来たソ連の力が無くなり、民主主義に目覚めた結果、独立しようとする国や国境紛争、民族紛争が多くなり、ドンパチ、ドンパチとあっちでも、こっちでもと言う状態になってしまいました。

これらの紛争の間に入って仲裁するのは国連しかありません。国連中心主義の日本は、当然、積極的に国連に協力しなければなりません。国連平和維持活動や国際緊急援助に関する法律も日本にもできるでしょう。

自衛隊の出番です。今まで紛争地に、お医者さんや船舶輸送、航空機の派遣を政府がお願いしても誰も行ってくれませんでした。世界の平和のために活躍できるのは、日本では自衛隊の他にはありません。

海上自衛隊のペルシャ湾での機雷処理が国の内外で高い評価を受けた様に、これからは、自衛隊をみる国民の目も変わって来るでしょう。

「いざっ、その時に」役に立たなかったと言われないよう今年は、より国際性を身につけつつ、頼られる自衛官になるよう心機一転頑張ろうではありませんか。

訓練始め

第十二施設群は、平成四年の訓練始めとして約六㎞のスキー機動訓練を実施した。

実施要領は、機動経路上に数箇所のチェックポイントを設けるとともに群本部から係員を配置して各中隊の誘導員に対してご後の機動経路を指示するとともに中隊の誘導員は無線等で中隊長に経路を報告し主力を誘導するというオリエンテーリング方式により実施した。

この間、年末年始の酒をすっかり出して汗だくになった者、スキーより先に身体が坂を下り真っ白になった者等訓練始めならではの情景が見られた。

最後に群旗、中隊旗を先頭に全員が平成四年の抱負をシュプールしっかり刻みながら、スキー山を滑降して訓練を終了した。

鈴木群長を先頭にスキー機動

新年交礼会

一月十一日、自衛隊協力会岩見沢隊区連合会、隊友会岩見沢支部との共催で、新年交礼会を実施した。

交礼会には、岩見沢市長をはじめ周辺の五ヶ市町村長、空知支庁長等有識者百七十名が来隊し盛大に行われた。

会は、駐屯地司令、協力会長の挨拶で始まり来賓祝辞、鏡割に引き続き和やかに祝賀会食がおこなわれた。

右から鈴木司令、青木三笠市長、
小木曽 北村長、細岡市議会議長、笠原協力会長

新年の御挨拶

北部方面調査隊
岩見沢派遣隊長

新年おめでとうございます。昨年は、ソ連のクーデター騒ぎをはじめとして大変動きのはげしい年でありましたが、ともかく直接私共には、今のところ平穏な一年を過ごすことが出来ました。これも、隊員の皆様が日夜、有事に備えた厳しい訓練の積み重ねにより、相手に隙を与えなかったからだと思います。調査隊は保全専門の部隊として勤務していたわけでありますが、皆様の"強さ"に守られて一件の保全事案もなく新年を迎えることが出来ましたこと深く感謝申し上げます。

本年も皆様が百%の力を本来の任務に投入できることを願いまして、私共、微力を尽くすところであります。本年もよろしくお願い致します。

なお、「調査」という言葉からどうもまだ近付きにくいようなイメージをもっているように感じられますが私共は、いつでも門戸開放いたしております。特に用事のない方のお立ち寄りを歓迎いたします。どうか、お気軽にお立ち寄り下さることを重ねてお願い申し上げ、新年のご挨拶と致します。

新年の御挨拶 ——

第327会計隊長
3等陸佐 川崎 大輔

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、ペルシャ湾掃海艇派遣、雲仙普賢岳噴火災害派遣、国連平和維持活動法案審議等、自衛隊にとりましても激動の年でありました。

今年も、自衛隊を取り巻く環境は大きく変化すると思われますが、我々は、自衛官としての使命の完遂を基調として、物心両面の周到な準備をしておくことが重要であると考えます。

会計隊としましても、このような変化の激しい時代に対応すべくより精強な部隊の育成に努め、駐屯地の皆さんのために真に役立つ会計隊であるよう努力致します。そのため、「積極進取」をモットーとして、時宜にかなった会計諸業務を実施し、会計に関係ある情報もできるだけ早く皆さんにお知らせします。

また、給与・旅費・契約等で質問等がありましたら、遠慮なく相談して下さい。

今年も、どうぞよろしくお願いいたします。

新年の御挨拶 ——

314基通中派遣隊
3等陸尉 吉田 治

新年明けましておめでとうございます。

着任以来、早三度目の新年とともに五十歳の節目を迎えることとなりました。そこで、「和顔愛語」今年一年穏やかに行きたいものと願っております。

昨年は、新印刷電信装置の導入によりパソコンによる通信が開始されましたが今年もまた新FAXの導入、空調機の換装、電話ケーブル及び駐屯地放送回線の張り替えが実施されます。また、近い将来にはIDDN、電子交換機等駐屯地各部隊においてもパソコン、FAX等の端末機がどんどん普及されてくる時代です。この様に日々変化する通信状況の波に後れないよう常に、今は何をすべきか、次は何をやるべきかを考え基通派遣隊全員が一丸となり「さわやかサービス」を合言葉に隊務に全力を尽くす所存です。

駐屯地隊員の皆様並びに御家族の皆様の益々のご健勝と御多幸を祈念し新年のご挨拶と致します。

新年の御挨拶 ——

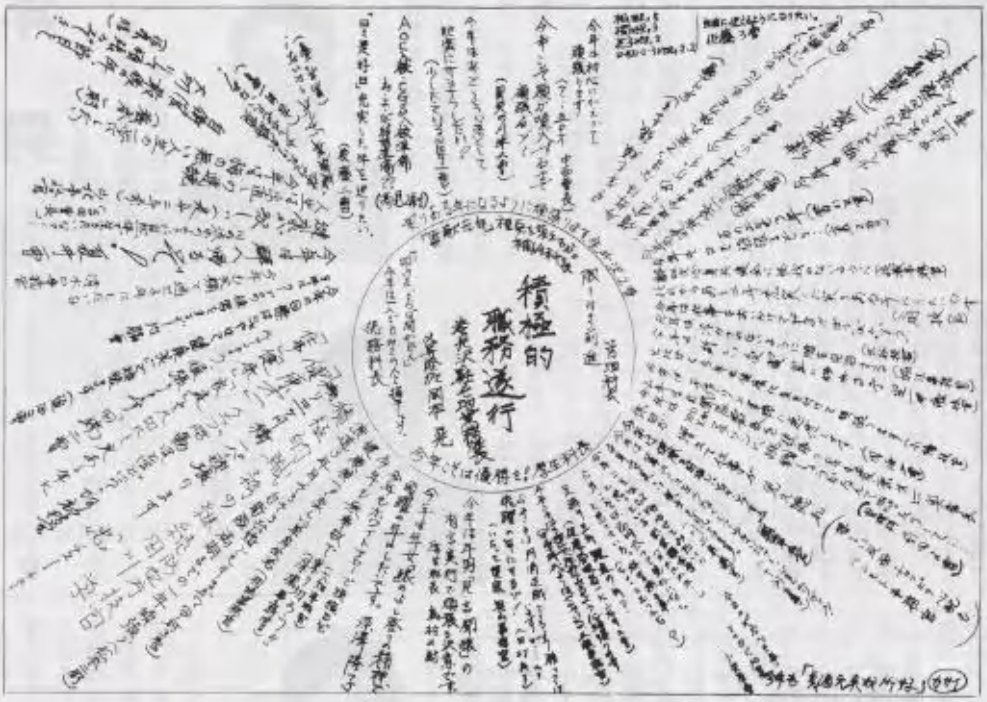
第101地区警務隊
岩見沢連絡班長
3等陸尉 小谷 啓治

皆様、明けまして御目出度う御座います。

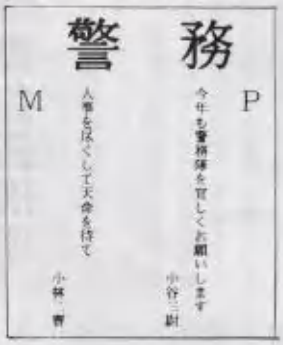
皆様方におかれましては、楽しく年末年始休暇をリフレッシュされたことと思います。

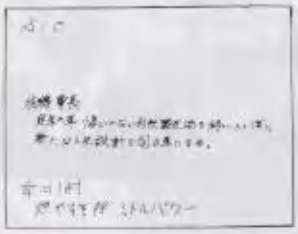
警務隊は、今年も事故のない明るい駐屯地になるよう事故防止の一環として防犯診断等を行いますので、皆様方のご支援・御協力宜しくお願いいたします。

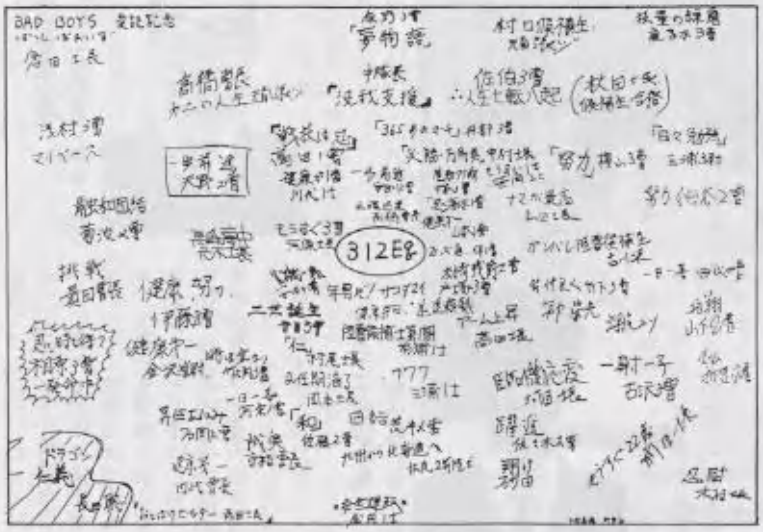
どんな小さなことでも結構です。困ったことがありましら気軽に相談に来て下さい。

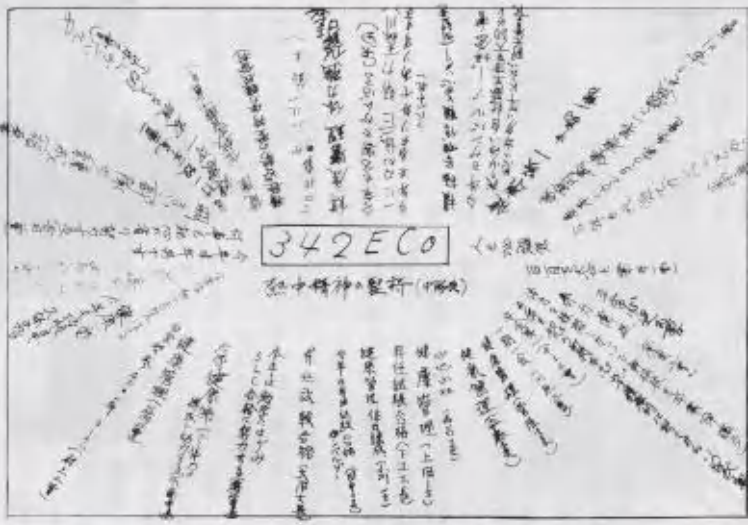


新年









安心しっかり
愛車もしかっり
車検費用積立プラン
富士火災
担当 松浦直樹
岩見沢支社 ☎23-5142

サンプラザ ウエディングプラン
エメラルド
挙式から披露宴までのすべてをセットしてこの価格！
ご両家ご負担 25万円
ホテルサンプラザ
岩見沢市4条東1丁目 ☎23-7788

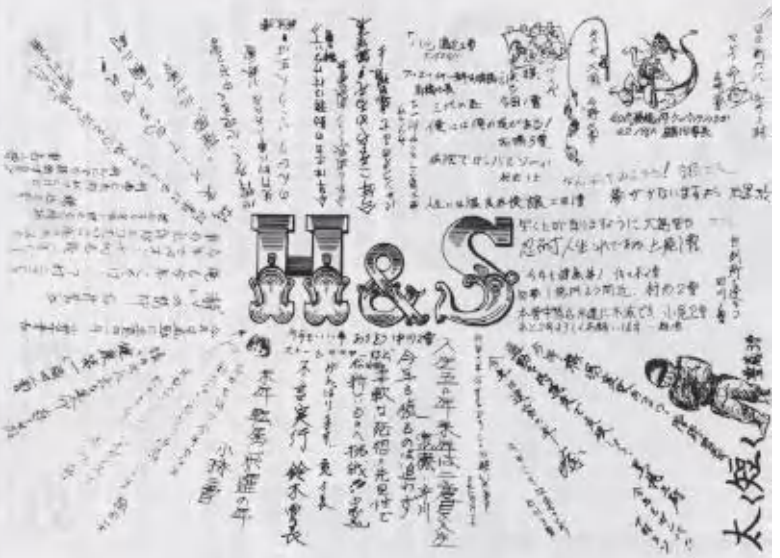
・・・・・・だから
二人の時間を刻みたい
よろしければ・・・・
Iwamizawa
Heiankaku
Phone. 0126-23-4581 Free Dial. 0120—201143

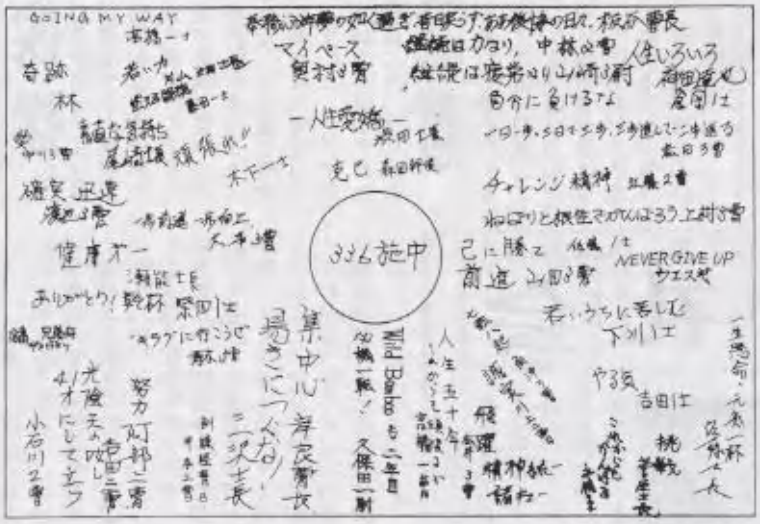
株式会社 本堂建設工業
取締役社長 本堂春夫
本社 三笠市幾春別町4丁目
電話 (01267) 6-8288 FAX (01267) 6-8030
札幌支店 札幌市白石区本通1丁目南1
電話 (011) 861-1381 FAX (011) 865-5034
石狩支店 石狩町花川南1条1丁目11
電話 (0133) 73-3111 FAX (0133) 73-0757

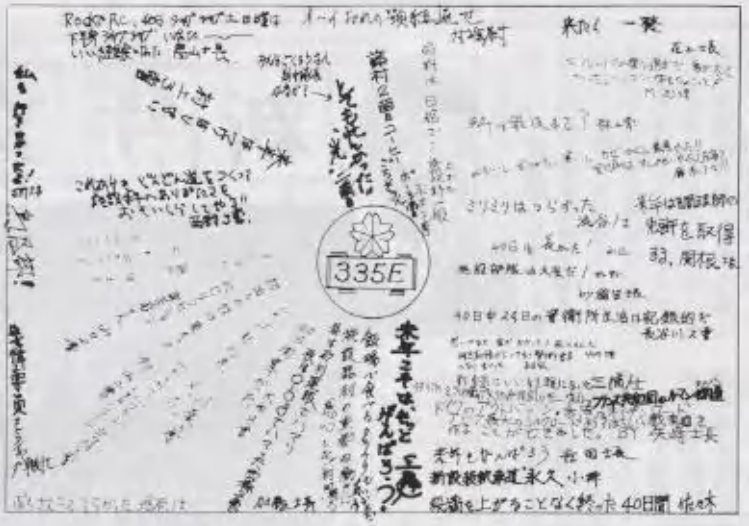
安心とゆとりのプラン
協栄生命 LL・ワイド 15 50 100
担当:田村純子・江藤早苗 更新型
余裕資金を上手に活かして大型保障
協栄の保険料頭金制度をご利用ください
定期特約付終身保険
協栄生命保険株式会社

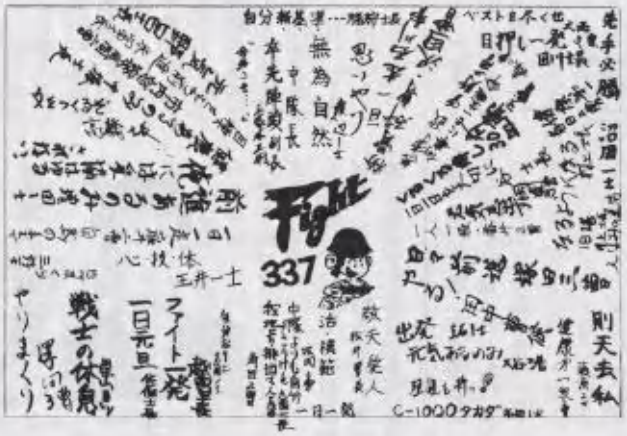
時代を一歩リードした
中庭のあるモデル住宅
柏崎建築設計事務所
建築請負 柏崎建設株式会社
代表取締役 柏崎照朗
会社 岩見沢市11条西1丁目
電話(代)23 2129番
木工場 岩見沢市東山町
電話(24) 1725番

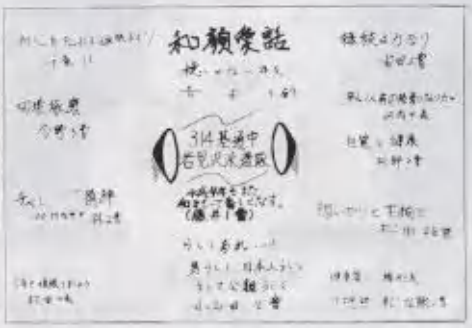
の抱負











千葉電気工事株式会社
代表取締役 千 葉 嘉 男
岩見沢市東山町２２番地７１
電話 (0126) ２４-４５６７番

近江建設株式会社
特定土木建設許可・一級建築士事務所
本　社 岩見沢市４条東17丁目48番地 電話23－3026
支　社 三笠市唐松町１丁目３７４ 電話２－3179
営業所 札幌市中央区南２条西５丁目
ロジエ札幌25 806号室　電話011-222-5359
営業所 三 笠 市 幌 内 本 沢 町 電話２－5403

自衛隊退職者雇用協議会
岩 見 沢 支 部
事務局：岩見沢市商工会議所内
支部長：　三 谷 栄 一
TEL：０１２６－２２－３４４５

● 年金と医療保険のパイオニア
● 生涯の保障に終身保険(明朗)
頭金制度により毎月安い
保険料で大きな安心
東邦生命
担当 深沢 隆子 (M327)

— コニカカラー百年プリント —
カラープリント45分仕上げの店
カメラ ビデオ の **田沢**
〈各種クレジットカードOK〉
岩見沢市１条西４丁目 ☎22－4848

宝 石 創業８４年 貴金属
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店
(株)太田時計眼鏡店
岩見沢市１条西４丁目
TEL 0126㉒3353 ㉒3354

年男

第三三七施設中隊
一等陸尉　岡本　美弘

指揮官として

皆様、有意義な新年を家族ともども過ごされていることと思います。

昨年三月中隊長に上番以後、諸々の業務を無我夢中で遂行し、その任を果たしました。

年男の今年、国防のプロとして覚悟を新たにした次第であります。

今年は、物事を行うにあたって、考えて前向きに。前進を常に念頭におき、一歩後退二歩前進でなく一歩でも、半歩でも常に前に出るということに努め本当に強い、頼りになる中隊を育成したいと思っています。

年男として

国防のプロとして覚悟を新たにし、物事を行うに当って考えて前向きに、前進を常に念頭におき職務を遂行していきたい。

第三一二施設器材中隊
二等陸尉　迫田　寿

新年明けましておめでとうございます。

入隊二十一年、三回目の年男、年月の経つのも早いもので今年三十六才になる。

今までの自分を振り返りながら年男としての今年を考えてみたい。

まず、仕事面では上司・部下隊員から信頼される小隊長（幹部）として自己の知識・技能を高めて行きたい。また、融和団結した中隊の育成に職責に応じた貢献をしたい。

家庭面では、女房はもとより子供に手を挙げない父親、そして年に二回くらいは遊びに連れて行く優しい父親になりたい。

考えると多くの目標なり抱負があるが今年一年、中隊の全隊員はもとより家族と共に、健康で笑って過ごせる年になるよう努力したい。

三三五施設中隊
陸士長　古野　秀幸

私は今回二度目の年男を迎えるに当たって自分がこの年男を境にどのように生きていくのかをよく自分自身で考え、周りの人の意見をよく聞きその意見を大切にしていきたいと思います。

これからは、一人の男として自分自身で考え及ぶだけ考え確実に行動に移し、そして今までの自分とは違い、これからの自分がどこまでやれるか、また、どれだけ数多くの考えを自分の中に受け入れることが出来るか、色々な人々の教えを受けて自分自身の内面を少しでも磨いて行きたいと思います。

本部管理中隊
二等陸曹　中谷　護

明けましておめでとうございます。

年男も十代、二十代、三十代、四十代と少年期・青年期・家庭人等それぞれに、いろいろな事が目まぐるしく変わる中、現在の情報社会では、自分に必要な情報をつかみ自分・家族・人・社会の為に役立たせることを考え一日一日を大切に過ごして行きたいと思います。

第三三六施設中隊
一等陸曹　開藤　重則

今年早くも三回目の年男を迎え、より一層のステップアップを図ろうと思う。

昨年は、春先から激動の一年であった。

思えば三月末に車両主任となり、机に向かう時間が多くなり、七月一曹へ昇任。上曹教育、RC工事、補給整備検査と息つく暇もなく舞台が変わり、普段余り使った事の無い頭をフルに使用したため上曹でオーバーヒートを起こし、"十円ハゲ"！治りかけてところにRC工事に突入、ここで工事監督の高野一尉通称「タカの目」に悩まされ、また、"十円"さらに補給整備検査で"五百円"になるのではと心配したが異常なし！

ここで"十円"の謎を解いていくと、自分の考えをまとめ、文章に表す事が弱いという結論が出たにで、この一年の始めに話術表現力の向上、柔軟な考え、想像力のアップを掲げ、ハゲに対抗してやって行こうと思う。

第三三七施設中隊
陸士長　谷　充晃

私は年男という事で、再度新たな気持ちでこれから頑張って行くために二つの目標をたてました。

まず一つは、何といっても陸曹候補生になる事です。

今までは単に生活しているだけでしたが、このような気持ちは捨てて陸曹になるという意志を持って勉強に励み、早く陸曹となって中隊のために少しでも貢献出来るようになりたいと思います。

二つ目は、戦技競技会の選手になるという事です。

今まで、中隊の選手には何度かなった事がありますが、常に選手として活躍することが出来るよう日頃から練習に励み頑張って行きたいと思います。

以上の二つをこれからの人生の目標とし、少しでも早くこの目標を達成できるように頑張って行きたいと思います。

（順不同）

岩見沢駐屯地陸曹会長挨拶

新年を迎えて

陸曹会長
長堀　信光

駐屯地の皆様、明けましておめでとうございます。

旧年は内外的の自衛隊を取り巻く環境は激変の年でありました。

会員及び御家族の皆様におかれましては、このような時世の奔流に戸惑う事なくしっかりと足元を見据て過ごされたことと思います。

さて、陸曹会も本年は創立五年の節目にあたり、更に会の充実と発展を期し、「陸曹会は陸曹の力で」を合言葉に各行事に取り組み、また、事務局充実を図るための整備と常駐員の確保に努力し、より柔軟性の富む会活動を実践して行きたいと思っています。

今後とも、駐屯地司令をはじめ、各部隊長の皆様の尚一層の御指導、御協力を戴き、ゆるぎない「岩見沢駐屯地陸曹会」の形成に努力をしていく覚悟です。

最後に、会員の皆様、御家族の皆様の益々の御健勝と御発展を祈念致します。

ビル管理資材、清掃用具、日用雑貨
ビルメンテナンス（知事登録、北海道元清第6号）
はしもと商事有限会社
代表取締役　橋本　了
岩見沢市駒園5丁目6番地
TEL　代表　(0126) 22－5546
FAX　(0126) 22－5546

オール電化マンション
レジェンド
（有）エイ
連絡先：岩見沢市6条西7丁目
☎22－0087

給合商社
株式会社　君島商会
□本社　岩見沢市南町8条2丁目　☎22－4613
□志文支社　岩見沢市志文本町2条3丁目　☎22－5813
□栗沢支店　栗沢町本町10　☎45－2068
□石油部　岩見沢市南町9条2丁目　☎22－4565
□自動車部　岩見沢市南町9条2丁目　☎22－6434
□オートザム岩見沢　岩見沢市南町9条2丁目　☎22－7861
□コンパス岩見沢　岩見沢市南町8条2丁目　☎24－8390
□セブンイレブン岩見沢南町店　岩見沢市南町8条2丁目　☎25－4840

・真夜中の十二時頃、「起床」と叫んだ某三曹
（六中上村三曹）

・中隊主力がRC工事の際、警衛要員となり続け、通算六十回を越えた某士長
（六中児玉士長）

・早朝四時、目覚し時計が鳴り出して全員が目を覚ましたが誰も止めようとせず某士長が止めた。ちなみに時計の持ち主は何もなかったようにグーグー寝ていた
（六中宇山二曹）

法面の成形及び芝張り作業

・真夜中に突然某二曹が寝言で「起床」と叫んだため部屋の明りをつけた某士長
（詠み人知らず）

・夜中酔っぱらって二段ベットの上から落下し、半回転して見事着地した某士長
（六中小峠士長）

・ある晩、浴場に歩いて行ったところ、突然後ろから「ギャー」という声が振り向くと某一士が側溝に落ちていた。
（六中F三曹）

・RC工事に一ヶ月しか参加していないのに、色々な物を壊してしまった最高に運の悪い施設学校帰りの某三曹
（六中山田三曹）

・法面の土羽打ちを終えた場所をなおかつ土羽打ちをしていた愚か者がいたので「そこは終ったよ」と教えたその瞬間、土羽板を持っていたのは何と群長だった。
（六中片山一士）

Clean Lord'91

・みんなには黙っていたが、某士長はタップタップとなった残飯壕の中に落ちて何もなかったように去って行った。この事件を目撃したのは、人のアラ捜しが三度の飯より好きな某三曹
（六中柴田三曹）

・ドーザ手の某一士は、ドーザをまさかのガス欠にしてしまい某二曹からヤキが入ってしまった。
（六中藤田一士）

・「土羽板を持って来い！」と言われて、かけやを持って来た某一士
（六中倉岡一士）

・起床十五分前から五分おきになる某二曹の目覚し時計。毎日、五分おきに止めていたのはこの私です。
（六中沢原三曹）

・「パン、ブー」「パン、ブー」とおならでリズムをとって土羽打ち作業をしていた某士長
（六中三沢士長）

開通式で堂々のパレードする74式戦車

めがね新道記念碑の除幕式

・現場指導と称して腕を組んで歩いていて生コンを打設したばかりの所に足を踏み入れ、大穴をあけて大ひんしゅくを買った某一尉
（六中久保田一尉）

・生コン打設時、生コン敷き均すために中に入って作業をしていたボクは、体が半分くらい埋まってしまった。
（六中松浦一士）

めがね新道工事風景

・RC工事、昼間はミリミリ夜はジャブジャブで体がキロキロになった私。
（五中工藤士長）

・うちの天幕、毎夜のポーカーついたあだ名は賭博天幕！
（五中竹内三曹）

・検閲後半、工事も順調、卓球狂いで余裕見せ。
（五中吉田士長）

・夏にノースリーブを着ていてみんなに「それ以上黒さに磨きをかけてどうするの？」と言われた某二曹
（六中小石川二曹）

工事の完成を祝って人文字

・某一士は、荷物がたくさん積んであった三トン半ダンプを見て、「これに乗って帰るのか」といらぬ一言を言ったため、某三曹から「いやなら帰るな！」と怒鳴られた。
（六中　？　）

・某二曹は、六tで帰隊途中汗をふくために中帽をはずした。と、その時、ドライバーが急ブレーキ。ただでさえ頭を気にしているのに
（六中須藤二曹）

・某二曹は、あまりの熱心さにズボンのケツが破れていることも気付かず作業を続けた。白いブリーフがまぶしいぜ
（六中吉田士長）

・お金がなく、ジュースは全て官品を飲んでいた某一士。それを見て笑っていた某三曹のベットの下には、官品ジュースの空き缶の山が。
（六中中川三曹&片山一士）

・某三曹は、三t半を反転させる場所を間違え、五百メートルもバックしたため、首が戻らなくなった。
（六中高橋二曹）

・某三曹は、水糸の入ったセブンイレブンの袋を持って歩いていた付准尉をみつけ、今日も肉まんの差入れと勘違いして「いただきます」と訳の分からぬ事を言っていた。
（六中大串三曹）

・某二曹は、頭を自分のベットおしりを床、そして足を隣の某三曹のベットにかけてぐっすり寝ていた。
（六中宇山二曹）

・これぐらい我慢してよと腹をなで（記念碑の土台が若干ふくらんでしまって）
（本管中隊長）

・うまいかなキツネくわえるヘルメット
（本管中小見二曹）

・（釣部）迷誉会長肩書だけでまる坊主
（本管中T・S）

・一ヶ月経ち我が家に帰り子を見れば泣き逃げ廻り抱くにも抱かれずあぁ演習
（本管中榊三曹）

・枠強化足場材で補強して最後の手段だはおずえ設置それでも出るのかお前の腹は
（本管中折笠二尉）

・状況開始の通信班雨中をカラカラ有線組、車中でビーピー無線組、開設完了目指し戦争だ急げ急げとヒゲ親父
（本管中小林一曹）

・長期野営終ってみれば書類の山
（本管中工藤三曹）

・炊事支援朝の辛さに母思う
（本管中日野一士）

・RC　きつかった！二ヶ月ぐらいは行ってたよなぁ来年もRCかぁ　あーぁあ！
（七中渡邊一士）

・ジープ運転中、新忠庭橋の上にいたタヌキが驚き誤って漁川におちて流れていった。
（五中松本三曹）

・一人で作業中、キツネがきて分隊長のおいていた軍手を取っていった。
（五中増原一士）

駐屯地クリーン作戦

十月十五日から十一月二十日、群主力が不在になった駐屯地では業務隊長岡本二佐が先頭に立って越冬準備作戦を実施した。（駐屯地クリーン作戦九一）

毎週金曜日に業務隊が全力をあげて枯れ枝払い、雪囲い、枯葉拾いを実施してくれました。おかげで群主力は、きれいになった駐屯地に凱旋帰還することが出来ました。

主力不在の駐屯地を守ってくれた業務隊・諸隊及び中隊の残留隊員の皆さん、どうもありがとうございました。

越冬の準備も完了した庭木

・長期野営、帰ってみれば美女ばかり
（本管中峯一士）

・チェーンソーで、倒木をバッサバッサと切って、波にのったやさき、エンジン停止それは、単なる燃料切れだった。
（七中越智士長）

・暖を取り、寝たのは良いが火が消えて周囲は、真っ白しもたらけ！
（七中澤田三曹）

・めがね新道工事ドーザ上達目指したが、スクレーパの上達しかしなかった。
（五中村田三曹）

・性悪キツネ豊富な残飯手も付けず　ひたすらライナーあごひも狙い
（六中長堀曹長）

・土木工事、でき不できは空次第　予報聞きつつ上方悲し
（六中長堀曹長）

新隊員コーナー

三十九期の新隊員は、昨年十月三十日から一月二十六日の間岩見沢駐屯地において後期教育を実施しています。

雪の降る中での射撃

三十九期の特色は、隊員の出身地が南は沖縄から北は北海道まで全国各地から集まって来ていると言うことです。

想い起こせば、渡河訓練は三十センチメートルを越す積雪のため器材の積み込み、卸下だけで身体の芯まで冷えた思い出、雪の降りしきる中で実施した小銃の射撃は、標的が見えなくなって延期する等、沢山の思い出に包まれながら一月二十四日に終了検閲、終了式を迎えようとしています。

教官は三三五施設中隊九州出身で通称「訓練の鬼」の倉橋三尉、先任助教は三三六施設中隊「戦技のエキスパート」江藤二曹に代表される多彩な教官助教のもとで厳しい訓練、楽しい営内生活を送っています。

昇任おめでとう

第十二施設群
三等陸佐へ
群本部　垣根義昭

二等陸尉へ
本部管理中隊　梅津和幸
黒滝信恭
兵井弘

准陸尉へ
第三一二施設器材中隊　高橋三雄

一等陸曹へ
本部管理中隊　大澤栄

陸曹長へ
本部管理中隊　一瀬紀明
上田博志

第三三七施設中隊　澤田哲明

第三一二施設器材中隊　河原陸美

第三四二施設中隊　福原一年

第三四二施設中隊　中上聡
本間博

業務諸隊
二等陸尉へ　業務隊　佐藤勝

准陸尉へ　吉田好夫

陸曹長へ　中村正人

一等陸曹へ　平川八一

定年退官

長い間ごくろうさまでした

第三一二施設器材中隊
陸曹長　小関　誠　11・23
住所　岩見沢市九条西十三丁目一の十五
就職先　北海道ハイウェサービスKK

第三一二施設器材中隊
陸曹長　白石　正信　12・26
住所　岩見沢市日の出台二丁目二の七
就職先　石狩造機KK

成人おめでとう

第三三六施設中隊
小石川和治

第三一二施設器材中隊
深尾高明

第三四二施設中隊
小原三男
川堀清隆

二等陸曹へ
本部管理中隊
佐藤克二

第三三五施設中隊　伊藤重雄

第三三七施設中隊　三浦等

第三一二施設器材中隊　横山光生

三等陸曹へ
第三三五施設中隊　山本哲也

第三三六施設中隊　鬼頭孝宏

第三三七施設中隊　田中和彦
越智寿雄

第三一二施設器材中隊　村口優介
河原康史

遠目塚進(本管中)
谷脇学(本管中)
中村高王(本管中)
櫻庭剛志(本管中)
鳴海修(本管中)
藤谷肇(五中)
三浦幸成(五中)
大倉弘泰(五中)
早坂忍(五中)
増原祥貴(五中)
中村俊幸(五中)
瀬能能司(六中)
片山修司(六中)
佐々木稔(六中)
倉岡亮二(六中)

下川和之(六中)
松浦善行(六中)
木下稔(六中)
三好弘之(七中)
渡辺敏(七中)
城岡正人(七中)
若槻昭人(七中)
成田貴洋(器材中)
三浦英彦(器材中)
松尾彰史(器材中)
渡部健一(新教)
弘中史樹(新教)
三枝將樹(業務隊)
福原登(会計隊)
村田正史(基通)

こんにちわ赤ちゃん

第三三六施設中隊
・二曹　鬼頭　孝宏
長女　舞　ちゃん　11・7

第三一二施設器材中隊
・二曹　横山　光生
長女　成美ちゃん　12・11

第三三七施設中隊
・三曹　岡園　喜一
長男　侑大くん　12・17

第三三六施設中隊
・三曹　渡辺　伸二
長女　桜　ちゃん　12・28

駐屯地年忘れ大会スナップ

12月20日、陸曹会主催で年忘れ大会が行なわれ、隊員は一年間の思い出胸に楽しい一時を過ごしました。
（写真は仮装カラオケ大会）

部内外競技会で活躍

部内競技会

第一〇二基大通信戦技競技会
個人戦搬送の部　第三位
士長　横井　英一(基通)

第一五回全道自衛隊防具付空手道選手権大会
個人戦
二曹　阿部　正義(基通)
士長　河内　勇人(基通)
士長　横井　英一(基通)

全国自衛隊柔道大会
三曹　中村　正人(本管中)
士長　石黒　徹(本管中)
三曹　四関　英則(五中)
三曹　田部井哲男(六中)
三曹　園田　喜一(七中)
二士　藤原　誠(七中)
士長　古川　成一(器材中)
技官　長谷　淳二(業務隊)

部外競技会

第二六回岩見沢市剣道大会
二曹　阿部　正義(基通)

第一四回全日本少林寺流錬心館空手道北海道連合会滝川支部大会
審査員
二曹　阿部　正義(基通)
個人戦
士長　河内　勇人(基通)
士長　横井　英一(基通)

札幌マラソン大会
一曹　上杉　高正(六中)
二曹　江藤　省吾(六中)
士長　三沢　剛(六中)
士長　多田　正樹(六中)
一曹　岸井　三男(業務隊)
二曹　河津　敏行(業務隊)

技官　清水　忠(業務隊)
技官　田川　学(業務隊)

岩見沢体育大会(水泳)
士長　矢崎　敏行(五中)
五十m　自由型
五十m　バタフライ　第一位
准尉　吉田　好夫(業務隊)
二百mメドレー　第一位
二百mフリーリレー　第一位

北見～網走駅伝
三曹　石川　信明(七中)
士長　長谷　英明(七中)

第二五回　日本バレーボールリーグ岩見沢大会役員として参加
二曹　松田　務(本管中)
二曹　松田　保(本管中)
二曹　中谷　護(本管中)
三曹　山上　竜一(五中)
士長　則本　直樹(五中)
三曹　松井　務(六中)
士長　菅原　寿男(六中)
二曹　森　克則(七中)
二曹　泉　勉(七中)
三曹　澤田　義文(七中)
二曹　折笠　一可(器材中)
三曹　竹之内龍二(器材中)
三曹　相原　良憲(器材中)
士長　三浦　英彦(器材中)
一曹　松山　昌文(業務隊)
事務官　奥山　武(業務隊)
事務官　川上　敦(業務隊)
二曹　宮本　元(会計隊)

北海道新聞社杯争奪
バトミントン大会
一般一部ダブルス第一位
技官　小幡　正二(業務隊)
ペアー　加藤　さん

第二十五回三市対抗（岩見沢・美唄・三笠）柔道大会
団体優勝
三曹　中村　正人(本管中)
士長　石黒　徹(本管中)
三曹　田部井哲男(六中)

33北部方面隊美術展

無審査
壷　黒滝信恭
特選
花瓶　鳥村昭彦

入選
茶碗　鈴木高義
花入　小林實
花瓶　大沢栄
花生　奥井正弘
壷　兵井弘